



平素より医療関係者・介護関係者のみなさまには、若松在宅医療・介護連携支援センター（以下、当センター）の事業にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

【研修会のご報告】

8月10日に若松区在宅医療・介護従事者研修会を開催しました。今回は製鉄記念八幡病院 糖尿病センター長の中村 宇大先生に「糖尿病患者をサポートする際の注意点」というテーマで糖尿病の高齢者を支える在宅医療についてご講演いただきました。



○糖尿病の基本的な知識

○糖尿病の方の定期的な足の観察、眼科や歯科受診といった併存疾患を含めたケアの大切さ

○高齢者は糖尿病の悪化が分かりにくいので多因子介入（生活習慣の改善：体重管理、血糖

コントロール、血圧コントロール、血清脂質コントロール）や多職種での介入の重要性 等々

丁寧に分かりやすくご講演いただきました。参加者からも大変参考になったとの声が多く、薬のこと、関わり方や観察ポイントなど具体的で分かりやすかったとの感想をいただきました。当初は会場参加とオンライン参加のハイブリット形式で研修会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴い、オンラインのみの開催とさせていただきます。会場参加からオンライン参加に変更してくださった皆様、ご協力いただき有り難うございました。

【研修会のご案内】

＜第1回多職種連携合同研修会＞

「オーラルフレイル・口腔機能低下症を知っていますか？」

講師：九州歯科大学歯学部口腔保健学科 教授 藤井航先生

「オーラルフレイル・口腔機能低下症への対応」

講師：九州歯科大学附属病院歯科衛生室 歯科衛生士 松本 絵里加先生

日時：10月20日（火）19：00～20：00

会場：若松区医師会館 及び Zoom ウェビナー

* 詳細につきましては研修案内をご覧ください



新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出が減り、人と話す機会が減ったことで口の周りの筋肉を動かさなくなり、その筋肉が衰えることで「オーラルフレイル」に繋がる恐れがあります。出来るだけ長く、元気であるためには「お口から食べること」がとても大切だと言われています。今回は、口腔機能低下が及ぼす身体への影響やその対策についてご講演いただきます。会場参加とオンライン参加のハイブリット形式で開催しますので、是非ご都合の良い形式でご参加ください。

【とびうめ@きたきゅうの登録状況について】

いつも変わらぬお声掛けをありがとうございます。8月末までの新規登録者数は、30,437名、そのうち若松区内は3,682名となっており、区内65歳以上の高齢者の13.9%となりました。消防局での閲覧も開始されています。万が一の際の安心材料として、より多くの方に「とびうめ@きたきゅう」への理解が得られ、登録につながりますよう引き続きご協力をお願いいたします。

